



よつばの手紙

特集「青梅に暮らしてみて」

目次

- ・特集「青梅に暮らしてみて」
- ・相談窓口の案内
- ・市内企業レポート
- ・さんかくの窓
- ・男女平等参画コーナー
- ・第五次青梅市男女平等推進計画の策定について
- ・人のわ

国際理解講座にて

青梅に暮らしてみても

2012年はオリンピックイヤーでした。

オリンピックを観戦しながら「世界にはたくさんの国があるな」と再認識された方も多いのではないのでしょうか？

地球上にはさまざまな文化や生活様式があり、多様な価値観や考え方をもった人々が暮らしています。そこで今回は、青梅に長い間暮らしているお二人から、外国の生活環境とくらべてみた青梅のこと、日本のことなどを伺ってみました。

「シュカト・サビーネさんプロフィール」

ドイツ出身。夫の仕事の都合で12年前来日。3児の母で、現在子育てを楽しんでいます。

「子育て支援センターや学校給食はよいシステムですね」

・青梅での生活の良いと思われる点、不便と思われる点を教えてください。

良い点は、市立図書館の資料貸出が無料だということです。

ドイツではユーロなどではありませんが、有料です。

また、子どもが自由に遊べる子育て支援センターや学校給食がある点もドイツにはない良いシステムだと思います。

そして公園が多くトイレもきれいですね。



本音で話し合うことの大切さを語るシュカトさん

残念な点としては、市営の室内プールがなく、屋外プールも使用期間が限られていること。

それからドイツに比べ信号機が多いと感じています。他の車や歩行者がいない時にも止まらなければなりません。これは排気ガスのことを考えると環境にはよくないと思います。

・日本の今の男女平等に関する取り組みについてどう思われますか？

ドイツでは子育ては両親の責任という考えですが、日本では母親が子育てを担う割合が多いように見えます。

父親が一生懸命仕事をする姿は素晴らしいと思いますが、そのために家庭を省みる余裕がなく疲れている人が多いように思えます。

両親がそれぞれの持ち場で頑張っていることは、いいことだと思いますが、お互いが協力できないのはとても残念なことです。

でも、これは決して若い親たちが悪いのではなく、古くからの日本社会の構図がそうさせているのだと思います。



〜本音で話し、楽しみながら子育てしています〜

・結婚や家族についてどうお考えですか？

夫婦のつながりが家庭の基本ですから、私たち夫婦は互いに本音で話し合います。

夫婦といっても、やはり他人

ですから、家庭のこと、子育てのことなど、できるだけ声に出して、確認し合っています。

そして楽しみながら家族で子育てをしています。

子育て中の若いパパやママも、もっと楽しみながら子育てが出来れば良いと思います。

〜水谷順子さんプロフィール〜
 韓国出身。来日24年目。介護福祉士の資格を取得し、現在老人福祉施設で仕事をしています。

〜図書館の職員の方に高いフロ意識を感じます〜

・青梅での生活の良いと思われる点、不便と思われる点を教えてください。

青梅は緑豊かな山があり、きれいな川が流れていてとても自然

に恵まれている所だと思います。

そのせいでしょうか、水もとてもおいしいですね。

私は青梅で生活するにあたって、今まで、たくさんの方に助けられてきました。

子どもを通じて知り合った保護者の方々、地域で知り合った近所の方々、その他たくさん

良いめぐり合いがあったことにとっても感謝しています。この温かい人のつながりも青梅の良い点の一つだと思います。

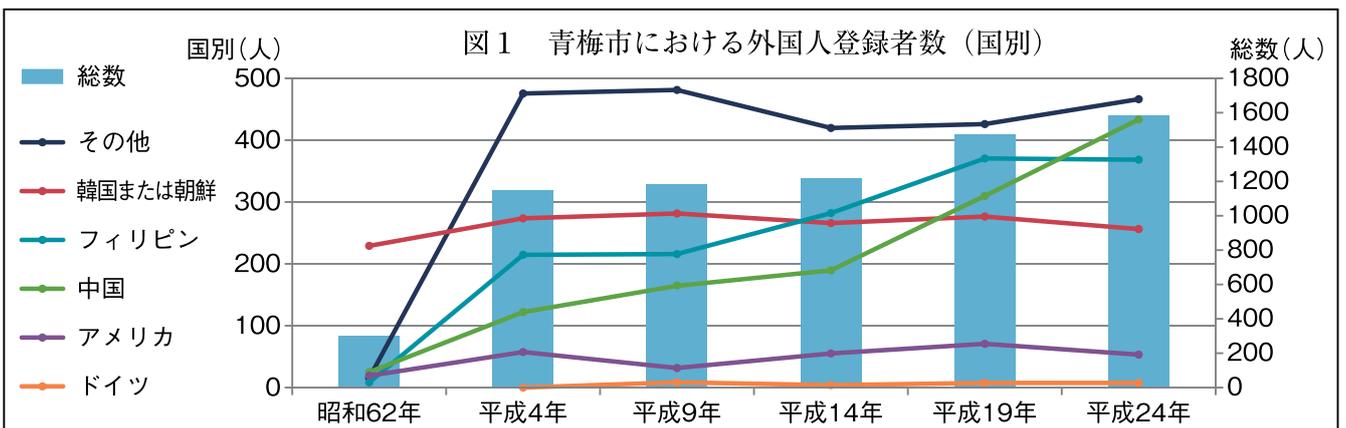
それから図書館の職員の方にも親切な対応をしていただき、大変助かりました。本を探す過程で、「ここまでしてくれるんだ」と思える丁寧な対応に高いフロ意識を感じることが出来て感激しています。

不便な点は、バスの本数が少ないことですね。私は車の運転ができないので、通勤、買い物などに困ります。

・日本の今の男女平等に関する取り組みについてどう思われますか？

日本というよりは、アジア全体から見ても女性の活躍の場が広がってきていて、勢いがあると感じています。

図1 青梅市における外国人登録者数（国別）



〔出典〕 青梅市の統計（平成23年度版）

・結婚・家族についてどうお考えですか？

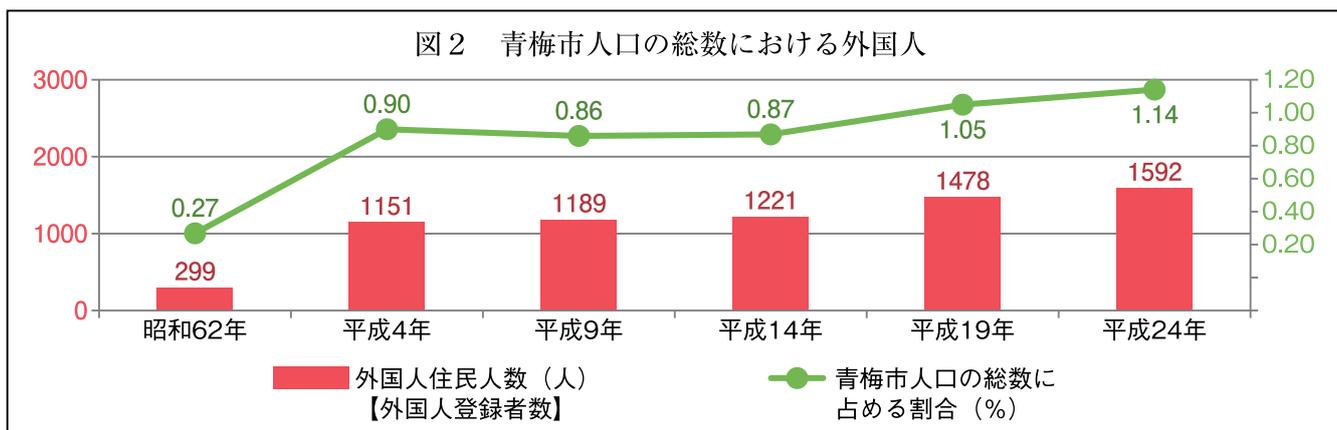
家族はチームワークが大切です。家族の土台は夫婦だと思いますし、夫婦がうまくいっていれば、子どもも健やかに育つと思います。

〜家族の土台である夫婦がうまくいっていれば〜

しかし、現実には目を向けてみると、育児休暇が取りづらくて悩んでいる若いママやパパが私の周りでも随分多いです。



人のつながりが青梅の良さと語る水谷さん



【出典】 青梅市の統計（平成23年度版）

市役所の各窓口では、外国語（英語・中国語・韓国語など）のパンフレットを配布しています。

- ・清掃リサイクル課……リサイクルハンドブック（ごみの分別・出し方）
- ・商工観光課……観光情報パンフレット（市内の名所などの紹介） など

相談窓口の案内

公的支援機関の相談窓口をご利用ください。

	相 談 先	内 容
女性の相談	東京ウィメンズプラザ TEL 03-5467-2455 毎日 9:00～21:00（年末年始は休み）	女性の総合相談 ドメスティック・バイオレンス、 夫婦・親子の問題、生き方や職場の人間関係など （就職活動の支援は行っておりません）
	東京都女性相談センター 多摩支所 TEL 042-522-4232 月～金曜日 9:00～16:00（土・日曜日、祝日、年末年始は休み）	
	青梅市子ども家庭支援課 TEL 0428-22-1111 月～金曜日 8:30～17:00（土・日曜日、祝日、年末年始は休み）	
女性の就職	マザーズハローワーク東京 TEL 03-3409-8609 月～金曜日 9:00～17:00（土・日曜日、祝日は休み）	キャリアカウンセラーによる女性の就職活動全般の相談 キッズコーナーも併設
	ハローワーク立川 マザーズコーナー TEL 042-523-1509 月・木曜日 9:00～19:00、火・水・金曜日 9:00～17:00 第1・3土曜日 10:00～17:00 （第2・4・5土曜日、日曜日、祝日、年末年始は休み）	
就職	ハローワーク 青梅 TEL 0428-24-8609 月～金曜日 8:30～17:15（土・日曜日、祝日、年末年始は休み）	職業相談 求職活動のサポート

～お客様と共に考え、 共に解決する～



青梅ガス株式会社
代表取締役社長
なかむら よしすけ
中村 洋介さん

環境に配慮し安定したガス供給を常に考え、地域に貢献されている青梅ガス株式会社の中村社長と女子会メンバーの荒井恵美さん、滝野祥子さんにお話を伺いました。

* ガスの実力再発見！

当社で推奨している天然ガスは、石炭や石油等に比べ燃焼時の二酸化炭素排出量が少なく、世界的にも豊富に埋蔵されているため安定供給が可能です。この天然ガスを利用することで、省エネや温室効果ガス削減などコストダウンにつながります。

* 専門資格を社員に推奨

効果的な節電対応がわからないなどの際には当社にご相談ください。東京都が推進する「省エネ診断員」や「節電アドバイザー」の資格を持つ社員が各家庭を訪問し、アドバイスさせていただいております。一人暮らしの高齢者の方には地域の見守りとして、女性の方には女性社員の対応が好評です。

* 女性目線で地域に貢献

当社の社員は大半が男性ですが、そのうち10名の女性社員で「青梅ガス女子会」を結成しています。2年前に立ち上げ、社内では女性社員

の意見を提案する場、社外では市内企業との連携による商品化や親子料理教室などに取り組んでいます。女性目線でいま何が必要かを考え、楽しみながら活動しています。活動内容は当社ホームページをはじめ、フェイスブックやツイッター、ブログにてご覧ください。

* 地域への還元「お客様感謝祭」

おかげさまで、創業52年を迎えました。毎年10月に実施している「お客様感謝祭」には、多くの方にご来場いただいております。当社のお客様と地域の皆様にも喜ばれる行事に発展しました。ご来場の記念品は、もちろん女子会メンバーが選び、毎年好評を得ています。

青梅ガス株式会社（新町8丁目）

設立 昭和35年5月 社員数 65名（男性55名/女性10名）
都市ガス事業・簡易ガス事業、各種ガス設備工事・機器販売

<http://www.omegas.co.jp/>

外国人と一緒に生きる 社会がやってきた！

河原俊昭・山本忠行著
くろしお出版



青梅市中央図書館で所蔵しています Tel. 0428-22-6543

さんかくの窓

職場や学校、お店や電車内など、皆さんの身の回りでも外国の方を見かけることが増えてきたのではないのでしょうか。

この本では、外国の方を正しく理解することからはじめ、日本で暮らす外国の方から見た日本の不思議を知りながら、言語や文化の違う人々との付き合い方を学ぶことや、多くの文化が混ざりあうことの重要性を知るきっかけを作ることができます。

やわらかい表現と対話形式を用いているので、日本でもこれから一層色濃くなるであろう多民族社会をより良いものにするためにも、子どもたちに読んでほしい一冊です。

男女平等参画

コーナー

日本は世界ランク135カ国中101位

意外？ 納得？

これは平成24（2012）年10月、世界経済フォーラムで発表された男女平等の度合いで、男女間の雇用格差・教育機会・平均寿命・政界進出などを数値化したものです。日本は他の国と比べて女性の国会議員や企業の幹部が少ないことが順位低迷の要因となっているため、普段の生活の中で私たちが身近に感じている男女平等感とは少し違うかもしれません。しかし、このような調査が行われる

世界各国のジェンダー・ギャップ指数

1位	(1) アイスランド
2	(3) フィンランド
3	(2) ノルウェー
4	(4) スウェーデン
5	(5) アイルランド

22	(17) 米 国
69	(61) 中 国
101	(98) 日 本

()は前回調査の順位

国際的非営利財団「世界経済フォーラム」(2012年調査)より作成

のは、国際連合（以下「国連」）設立と同時に取り組まれた女性の権利問題に対し、世界的に見てもいまだ解決しない課題の存在を裏付けるものではないでしょうか。女性の教育を受ける権利を主張していた15歳の少女が襲撃されたパキスタンの事件などは、改めて男女平等とともに人権を考えさせられる出来事でした。

男性にとつての男女共同参画

男女平等への取り組みは、女性のためのもの・女性優遇などと感じるかもしれません。男性にとつても重要な問題です。育児休暇を取りたくても躊躇していたり、「男は弱音を吐くべきではない」という思いから悩み事を相談できずいたり、「男だから…」という意識がその人にとつて重荷になっていることはないでしょうか。日本の中老年男性の高い自殺率との関連性を視野に入れるなら、性別にとらわれずにその意欲に応じて活躍する男女共同（＝男女平等）社会は、男性にとつても暮らしやすいものなのです。

また、女性の人権の視点からは夫やパートナーからの暴力、性犯罪、売買春、セクシャル・ハラスメント、ストーカー行為など女性に対する暴力が、女性の人権を著しく侵害

するものとして男女共同参画社会をつくる上で、克服すべき重要な問題となっています。

「男女共同参画参画基本法」へ

男女平等は、いまや世界各国でその対策が取られています。その背景にはその国特有の慣習や社会通念のために不平等で苦しむ女性の存在があり、男女平等社会の実現は国連における大きな活動目的の一つになっています。

では日本における男女平等の対策はどのように進められているのでしょうか。日本の男女共同参画社会の形成は、戦後の婦人参政権や憲法において個人の尊重と法の下の平等が規定されたことにより大きな転機を迎えます。その実現に向けた国内のさまざまな取り組みは、昭和20（1945）年から国連を中心とした国際社会の取り組みと連動しつつ進められました。

そして、我が国初の女性国会議員や婦人警官の誕生など女性の社会進出の実現を経て、平成11（1999）年「男女共同参画基本法」の制定へと至ります。

次号では、基本法の制定に至る国連と日本の動きに目を向けてみましょう。

第五次青梅市 男女平等推進 計画の策定に ついて

青梅市では、男女平等参画社会の実現に向けて、平成8年から「青梅市男女平等推進計画・青梅市プラン」を策定し、計画の趣旨に沿ったさまざまな事業に取り組んでいます。

現行の第四次青梅市男女平等推進計画は計画期間が平成24年度までとなっていることから、現在、第五次計画の策定を行っています。

男女平等参画社会の実現に取り組む理念を踏襲しつつ、少子・高齢化社会の進行や、価値観の多様化による生活スタイルの変化など、社会環境の変化に対応した事業の見直しを進めています。

このたび、第五次計画の素案に対し、皆さまからの御意見等

第五次青梅市男女平等推進計画の施策体系（案）

目標	課題	主な施策
人権の尊重による男女平等の意識づくり	配偶者等からの暴力の防止	●暴力の未然防止のための意識啓発
	男女平等意識を推進する教育・学習の充実	●学校教育における男女平等教育の推進
	生涯を通じた男女の心と体の健康支援	●母子保健事業の充実
社会のあらゆる分野への男女平等参画の推進	行政・防災分野での男女平等参画の推進	●政策・方針決定過程への女性の参画
	地域・家庭における男女平等参画の推進	●地域活動への男女平等参画の推進
	国際理解の推進と外国人への支援	●国際理解の推進
	生活の安定と自立の支援	●特別な配慮を必要とする男女への支援
働く場における男女平等参画とワーク・ライフ・バランスの推進	ワーク・ライフ・バランスの推進	●企業や事業主への啓発と情報提供
	働く場における男女平等参画の推進	●働きやすい職場環境づくり
	女性の就業支援	●就業への支援
	子育て・介護への支援	●保育・育児サービスの充実
総合的な計画の推進	推進体制の強化・充実	●市民参画による計画推進の検証
	男女平等意識の啓発	●啓発事業・広報活動の充実

太枠を重点課題とし、さまざまな事業に取り組んでいきます。

をいただく、パブリック・コメントを実施いたします。ぜひ、御意見をお寄せください。

★パブリック・コメント募集

■募集期間

平成25年1月15日から1月31日まで

■応募対象者

市内在住、在勤、在学の方、市内に事務所または事業所を有する方

■閲覧場所

市ホームページ、各市民センター、市役所2階行政情報コーナー、市役所4階企画調整課

■提出方法

必要事項を記載し、郵送（1月31日消印有効）、ファックス、メールまたは直接提出先へ（様式は問いません）

■必要事項

住所、氏名を御記入の上、表

題を「第五次青梅市男女平等推進計画（素案）への意見」として提出してください。

■提出先

郵送

〒198-8701

青梅市企画部企画調整課

ファックス

0428-22-3508

メールアドレス

divo120@city.ome.tokyo.jp

人のわ

つちや
土屋

かずあき
一昭さん

(35歳)

森の演出家(御岳本町)

子どものころから山や川が大好きでした。私は森の演出家として、みなさんに自然の素晴らしさを伝えようと活動しています。今の私があるのは、小さいころの自然体験があったからこそ。体験や経験は、大人になつてから生きてくると思います。東京都内でホテルやニホンカモシカに出会える場所は多くありません。青梅の子どもたちには、自然を身体いっぱい感じながら成長してほしいですね。

自然に囲まれて生活がしたいと思い、御岳の古民家へと移り住みました。最初は地域に溶けこめるかどうかという不安がありました。今では近所のおじいちゃんおばあちゃんとも、仲良くお茶を飲んでいます。あいさつはコミュニケーションの第一歩。今でも元気いっぱいあいつを心がけています。

私はこの場所で、地域の温もりを感じています。



自然の素晴らしさを伝える土屋さん(中央)

最近では都心からも、たくさんの方が御岳を訪れるようになりました。森や川などの自然を求めて来る人もいますが、人の温かさに触れたいという思いをもってやって来る人も多くなりました。そして、この場所であつた人たちはほとんど人の輪をひろげ、各地で活躍しています。私もそんな方たちの力になれば嬉しいです。

◆みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。

また、「よつばの手紙」で取り上げたい内容がありましたら、お知らせください。

◆男女平等推進計画のパブリック・コメントを1月15日から実施いたします。

よつばの手紙 第7号

発行日 2012年12月
発行 青梅市企画部企画調整課
電話 0428-22-1111

内線 2423
編集 男女平等情報紙編集委員会
編集委員 吉田由美子 福島恵美子
狩野 恵子 大野 哲明
具志堅裕子

<編集後記>

◆外国の方と話をすると決まって読みたくなる本があります。それは「世界がもし100人の村だったら」という本です。また図書館へ行って借りてきましょう。(よ)

◆男女平等という言葉のなかにある国や文化の違いによるさまざまな課題。人を思いやる心も男女平等の第一歩です。(ふ)

◆特集の記事を書きながら、海外で暮らしていたころを思い出しました。異国の地で感じる人の優しさ、温かさは忘れられません。お世話になった方々にまた会いたいなあ…。(か)

◆ある講演会で「やれる理由を見つけて挑戦しない限り成果は得られない」と講師の言葉。この言葉を教訓に今後の業務に取り組みたい。(お)

◆縁あって、青梅に暮らして20年。今年は、沢山の新しい出会いがあり、感謝の年でした。(ゆ)

